

2006年度テニスルール変更点について

2006年10月23日 作成
茨城県テニス協会審判部会

日本テニス協会(JTA)発行「テニスルールブック 2006」で、次の通り変更されています。

- 1 . タイブレーク決戦方式を、マッチタイブレークと呼称変更。(P31)
- 2 . エレクトロニックレビューの手順(電子機器による判定)を新設(P35)
- 3 . トイレットブレーク、女子の着替え、用具の不具合(コンタクトレンズ、靴の破損)でコートを離れる時間は、理にかなった時間に変更。(P39~41)
- 4 . トイレットブレークは、セットブレーク時に取ることを原則とするが、状態が深刻とアンパイアが判断したときは、該当選手のサービスゲームの前に緊急処置として認める。(P40)
- 5 . 筋肉ケイレンの処置は、1試合1回のみメディカルタイムアウトを認める。事前の申し出により、糖尿病への処置が許される。(P42)
- 6 . 筋肉ケイレンの場合、トレーナーがついていない試合では自分で手当てできる。(P43)
- 7 . 主審がついている試合では、「ゲームセットアンドマッチ」とアナウンスした時点で、試合終了となる。(P47)
- 8 . ラウンドロビン(総当りリーグ戦)の順位決定方式がITFの国別対抗戦と同じ方法に変更された。(P47)
- 9 . セルフジャッジの試合でも、クレーコートでは、相手選手にボールマークのチェックを要求できることになった。(P49)
- 10 . SCU方式でSCUがコールしない時でも、選手がネット、レットをコールし、両選手が合意した場合は、やり直しとなる。特にSCUの同意は必要がなくなった。(P52)
- 11 . 両選手が10～15分の遅刻をした場合でも、ウォームアップのペナルティーはなくなった。(P75)
- 12 . アンパイアがフォルトとコールしても、レシーバーがエースを認めた場合、相手プレーヤーのポイントとなる。(ポイントのコンシード P46)
- 13 . ウェアのロゴの大きさに関する一部の規制緩和が3月に行われた。[3ヶ所で26平方cm採用](P76 変更下さい)。以下に変更点を下線で示す。
 - ・1ヶ所目 シャツ、セーター、上着
(両方の袖それぞれに) 2.6平方cm以下の製造業者ロゴ1つ

- ・ 2ヶ所目 シャツ、セーター、上着
(前身ごろ、後見ごろ、えりには) 2.6平方cm以下の製造業者ロゴ1つ
- ・ 3ヶ所目 ショーツ、スカート、パンツ
2.6平方cm以下の製造業者ロゴ1つ

以上